JENESYS

未来につなぐ環境プロジェクト
—福島の再生可能エネルギー事業に学ぼう—（招へいプログラム）の記録
（対象国：韓国，テーマ：「ふくしまと韓国の環境問題や課題について知見を深め，災害を克服して創成する最先端の福島から学ぶ」）

1. プログラム概要

韓国より環境問題に関心がある大学生及び大学院生 25 名が，9 月 19 日から 28 日までの 9 泊 10 日の日程で来日し，テーマ「ふくしまと韓国の環境問題や課題について知見を深め，災害を克服して創成する最先端の福島から学ぶ」のもと，対日理解を深めました。

一行は，東京では伝統を重んじ継承する浅草界隈と最先端の都市インフラを備え，潤いとやすらぎのある都市景観の臨海副都心を，茨城県（つくば市），福島県（福島市，郡山市，いわき市，須賀川市，会津美里町，柳津町，金山町）では，再生可能エネルギーの現場を訪れました。太陽光発電をはじめ，風力，水力，地熱，温泉熱などを巧みに利用した再生可能エネルギーについての理解を大いに深めました。

福島の大学生との交流も複数回の機会を得ました。中でも，ゼミ合宿に合流する形で実施した学生間交流は，東北地方の秋の風物詩でもある芋煮会で，作るところから後片付けまでを共に行うプロセスが心に響く交流となり，両国の学生の距離をぐっと縮めることに繋がりました。また，福島市民を始め，各地で日本人とのふれあいの中から，福島や日本への関心が高まり，東日本大震災後の復興や福島県内での再生可能エネルギーへの取り組みについて理解を深めました。

各々，毎日SNSを通じての情報発信も熱心でした。帰国前の報告会では，10日間の体験や経験に基づいたアクションプランを作成し，帰国後すぐに取り組みたいと熱心に発表していました。

【訪問地】
東京都，茨城県，福島県

2. 日程

9 月 19 日（火）
成田空港より入国
【視察】浅草（浅草寺・仲見世），お台場（臨海副都心）

9 月 20 日（水）
【視察】国立科学博物館，茨城県へ移動
【視察】茨城県次世代エネルギーパーク，サミットウィンドパワー(株)鹿嶋風力発電所，福島県へ移動

9 月 21 日（木）

【視察】環境水族館アクアマリンふくしま，ワンダーファーム，トマトランド営農型ソーラー発電所，【日本文化体験】日本舞踊，三味線演奏

9 月 22 日（金）

【講義】「福島県の再生可能エネルギー政策について」

【視察】産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所，土湯温泉 16 号源泉バイナリー発電所

9 月 23 日（土）

【講義】「再生可能エネルギーを学ぶ」，【交流】福島県内の大学生と交流

【視察】福島大学，【講義】「里山再生プロジェクト」，【交流】農家民泊

9 月 24 日(日)

【視察】福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」，三春ハーブガーデン，福島空港メガソーラー，福島空港，裏磐梯，五色沼

9 月 25 日（月）

【講義】「日本・福島におけるゴミ収集の仕組み」

【視察】バイオマス発電を利用した福島市・あらかわクリーンセンター（廃棄物処理現場）

9 月 26 日（火）

【視察】柳津地熱発電所，東北電力第二沼沢発電所（揚水発電所）

【文化体験】赤べこ絵付け，着物・茶道体験（着物着装にて），よさこい体験

9 月 27 日（水）

【視察】居伊佐須見神社，向羽黒山城

【交流】福島大学の学生と芋煮会交流，成果報告会

9 月 28 日（木）

仙台空港から帰国

3. プログラム記録写真

9 月 19 日【視察】臨海副都心（東京都港区）	9 月 20 日【視察】サミットウィンドパワー㈱鹿島風力発電所(茨木県鹿島市)
9 월 19 일【시찰】임해부도심（도쿄도 미나토구）	9 월 20 일【시찰】사미트 윈드파워（주)가시마 풍력발전소（이바라키현 가시마시）
9 月 21 日【視察】トマトランド営農型ソーラー(福島県いわき市)	9 月 22 日【視察】産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所（福島県郡山市）
9 월 21 일【시찰】토마토랜드 영농형 솔라（후쿠시마현 이와키시）	9 월 22 일【시찰】산업기술총합연구소 후쿠시마 재생가능 에너지 연구소（후쿠시마현 고리야마시）
9 月 23 日【講義】再生可能エネルギーについて（福島県福島市）	9 月 24 日【視察】福島空港メガソーラー発電所（福島県須賀川市）
9 월 23 일【강의】재생가능 에너지에 대해(후쿠시마현 후쿠시마시)	9 월 24 일【시찰】후쿠시마 공항 메가 솔라 발전소（후쿠시마현 스카가와시）

9 月 26 日【視察】東北電力沼沢第２発電所（福島県柳津町）	9 月 26 日【文化体験】着物，茶道（福島県二本松市）
9 월 26 일【시찰】동북전력 누마자와 제 2 발전소(후쿠시마현 야나이즈마치)	9 월 26 일【문화체험】기모노 입기，다도체험(후쿠시마현 니혼마츠시)
9 月 27 日【交流】福島大学の学生たちと芋煮会（福島県会津若松市）	9 月 27 日 成果報告会（福島県福島市）
9 월 27 일【교류】후쿠시마대학 학생들과 이모니카이(후쿠시마현 아이즈와카마츠시)	9 월 27 일 성과보고회(후쿠시마현 후쿠시마시)

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

最初は交流先が福島と聞いただけで「いやだ」と感じました。しかし，最初の説明会の時，「私の息子も福島で育ちました」という鄭理事長の言葉を聞いて考え直しました。母は「子供を産めなくなったらどうする」とか，いろいろと心配して止めましたが，交流会が終わった今は，本当に来てよかったと思いました。でも，このままではまだまだ多くの韓国人は福島のことについて誤解したままです。私は福島に来て学んだこと，出会った最高にやさしい人々のことを，できるだけ多くの皆さんに伝えていくことを約束します。福島は今，世界に誇る再生可能エネルギーパークになろうとしていることも画期的だと思います。また，福島に来たいです。

◆　韓国　大学院生

震災や原発事故を乗り越えて，ここまで成長してきた福島の皆さんにも敬服しましたけれど，それにもまして再生可能エネルギーを導入し，2040 年までには 100%原発ゼロを目指す勢いもすごいと思いました。私たちは，福島に対して全く古い情報のままでしたので，この事実をもっと韓国の環境問題について考えている研究者にも伝えるべきだと思います。誤解をしたまま，大事な再生可能エネルギーを学ぶ機会を逃すところでした。来年卒業して社会人になったらもう一度福島に来たいと思います。

◆　韓国　社会人（教授）

「福島に学ぼう」企画は，まさに私たちのような環境問題に携わる人にとっては最も適した企画そのものでした。豊かな景色と県内に張り巡らされた再生可能エネルギー施設，最高の研究所や環境施設を所有していることにも驚きましたが，見学しながらうらやましいとも思いました。これから福島に多くの再生可能エネルギ―研究者や学生らが訪れることになるでしょう。もはや福島を非難をすることは間違っています。私たちは，原発の保有国である上に，危険と隣り合わせで暮らしています。福島の事故後の官民が一体となって除染に努め，世界一クリーンな地域を目指すという素晴らしいビジョンに向かってひたむきに頑張っている姿に脱帽です。

5. 受入れ側の感想

◆　福島大学生

韓国の大学生に出会って，一緒に英語を交えて身振り手ぶりで芋煮鍋を作った。ずっと前から友達であったような感覚さえあり，彼らと交流できたことが感動だった。福島にいながら，韓国の学生との交流，そして通訳を通してではあったが，意見交換ができたのが夢のようで，一気に視野が広がった気がした。

その中で韓国の学生の皆さんが今の福島について以前とは違った受け止め方で理解してくれたこともうれしく感じた。今度は韓国に行ってみたい。

◆　大学教授

「日韓交流環境セミナー in 福島大学」は，再生可能エネルギーの先進地たるべく尽力している福島県のエネルギー政策の背景と内容を，専門家の講義を受ける形で学習する企画だった。原発事故にまつわるエピソードや国の地域政策の紹介もまじえて詳細に講義し，韓国の学生諸君は熱心に聞き入り，質疑応答も活発に行われた。また参加した数人の日本人学生が自己紹介し，交流の場を持つことができた。セミナー終了後は福島大学附属図書館を見学し，日本の大学の様子を知る機会を設けたのも意義があった。夏季休暇中であったこともあり，日本人学生との交流は小規模に終わったが，日本の大学への興味を喚起する点での効果があったと思われる。

◆　自治体関係者

福島県の再生可能エネルギー事業に興味を持って訪ねてくれたことに感謝したい。福島県の政策について熱心に学んでいる姿に感銘を受けました。福島が思っていたより安全

で安心できる地域であると知っていただき，福島でたくさんの交流と思い出を持ち帰っていただきたいです。

6. 参加者の対外発信

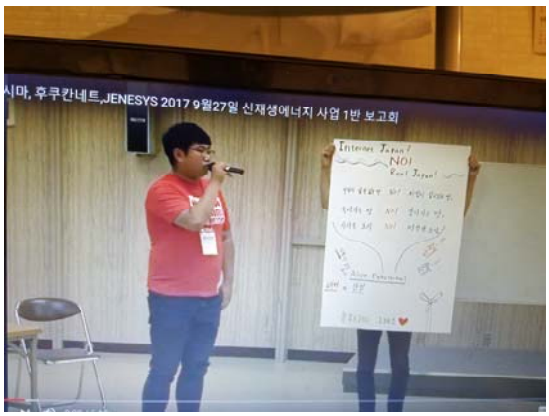
福島の安全・安心についての発信 三日目。今日はいろんなところに行き，多くの人に会い，新しい経験をした。福島だからとても心配をしたが，私の思っていたこととは違って，すべてが素敵で，皆が親切だった。福島の放送局にもインタービューされたので，私は福島のスターになった思いです。	福島の再生可能エネルギーに学ぼう この発電所は夜間電力を利用して，只見川から沼沢湖に水を引き上げて，電力消費が大きい昼間に発電する揚水発電所である。 渓谷も素晴らしい景色だが，たくさんの水力エネルギーをもっているのがうらやましい。本当にまれにしか見学できない揚水発電所を福島で見学できたことは，学生たちにとって一生の思い出となった。
3 번째날…오늘은 여러군데를 돌아다니고 많은 사람들을 만나고 새로운 경험을 했다! 후쿠시마라서 많은 걱정을 했지만 내가 걱정했던 것과는 다르게 모든 것이 예쁘고 모두가 친절했다.후쿠시마 방송에도 인터뷰한거 나온다. 나는 후쿠시마 스타.	이 발전소는 야간전력을 이용하여 다다미강에서 누마자와호수로 물을 끌어 올린 뒤 전력소비가 큰 주간에 발전하는 양수발전소다. 계곡도 절경이지만 많은 수력에너지를 가지고 있다는 게 부러운 일이다. 후쿠시마에서 정말로 보기 힘든 양수발전소 견학은 학생들에게 평생 잊지 못할 추억을 주었다.

<table>
<tr>
<td>
</td>
<td>
</td>
</tr>
<tr>
<td>未来につなぐ環境プロジェクト

震災を乗り越え，福島が再建するために県民が力を合わせ努力していることを知った。彼らは生きる糧のため再生可能エネルギーを選択し，地域の活性化と未来産業の推進をしていた。広島の痛みを乗り越えて再建、復興した今日の姿から，福島の人々が夢見る，福島の未来像を垣間みることのできる時間であった。
　時間が経つにつれて，福島について知れば知るほど，これまでの誤解が解けて，（安全な福島であるという）信頼につながることが多くなった。</td>
<td>産業技術総合研究所再生可能エネルギー研究所についての発信

日本の国内には 10 個所ほどのエネルギー研究所があるが，福島では再生可能エネルギー分野に集中しているといいます。風力，太陽光，地熱，地中熱など，多様な会社と大学等が集まって研究をしているそうです。下の写真はバイナリー地中熱発電所を見学したときのものです。そこでは，温度差を利用して 350kw の電気を生産しているというので，初めて見る方式でもあり，珍しかったです。</td>
</tr>
<tr>
<td>아픔이 있는 땅, 후쿠시마 재건을 기대하며 민생회복에 많은 노력이 있음을 알았다. 이 사람들이 살아갈 생계를 위해 그 사업으로 재생가능 에너지를 택하여 지역활성화와 미래 사업을 추진하고 있었다. 히로시마의 아픔을 딛고 재건한 오늘날의 모습에서 후쿠시마 사람들이 꿈꾸는 미래의 후쿠시마를 엿보는 시간이었다.
점점 하나하나 알아감에 신뢰되어지는 부분이 많아진다.</td>
<td>일본 전역에 10 개 정도 있는 연구소가 재생가능 에너지 분야로 가장 집중하고 있다고 한다.풍력 태양광 지열 지중열 등 다양한 회사와 대학들이 모여 연구를 함. 아래의 사진은 바이너리 지중열 발전소 견학.
온도차를 이용하여 350KW 의 전기를 생산한다고 하는데 처음보는 방식이라 굉장히 신기했다.</td>
</tr>
</table>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
まず，福島はすでに私たちに知られていた「怪談」とは全く関係なく，むしろ再生可能エネルギーパークを形成し，クリーン地域として新しく変貌しようとしていることを伝えたいと思います。学校はもちろんのこと，特に通っている教会，知人を中心としてコミュニティーにこの事実を伝えなければ，日韓関係にも悪い影響を与えると思います。	グループでレポートを書いて学科で発表をします。福島の体験を大学の掲示板に貼り付けます。 福島空港を通じて福島に来ることができる日が，一日も早く来てほしいと可能な限り伝えていきたいと思います。
우선 후쿠시마가 이미 우리가 알고 있는 괴담을 넘어서 재생가능 에너지 파크를 형성, 크린지역으로 향하고 있다고 전달하겠습니다. 학교는 물론이고 특히 다니고 있는 교회, 지인 커뮤니티를 중심으로 이 사실을 전달하지 않으면 한일관계에도 영향을 미칠 것이라고 생각합니다.	그룹이 협력해서 레포트를 작성, 학과에서 발표하겠습니다. 저희가 경험한 후쿠시마 재생가능 에너지 사업에 대해 전단지를 배포하고 게시판에 계재하겠습니다. 후쿠시마 공항을 통해 후쿠시마로 오게될 날이 빠른 시일내에 꼭 있어야 한다고 전할수 있는 매체를 통해 전하고 싶습니다.